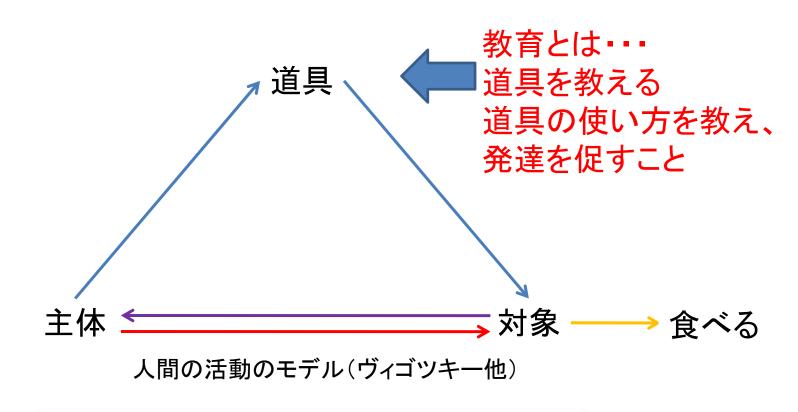
子どもが"わかる"ということ

大阪市立大学 医学部附属病院安全管理対策室 都市研究プラザ特別研究員

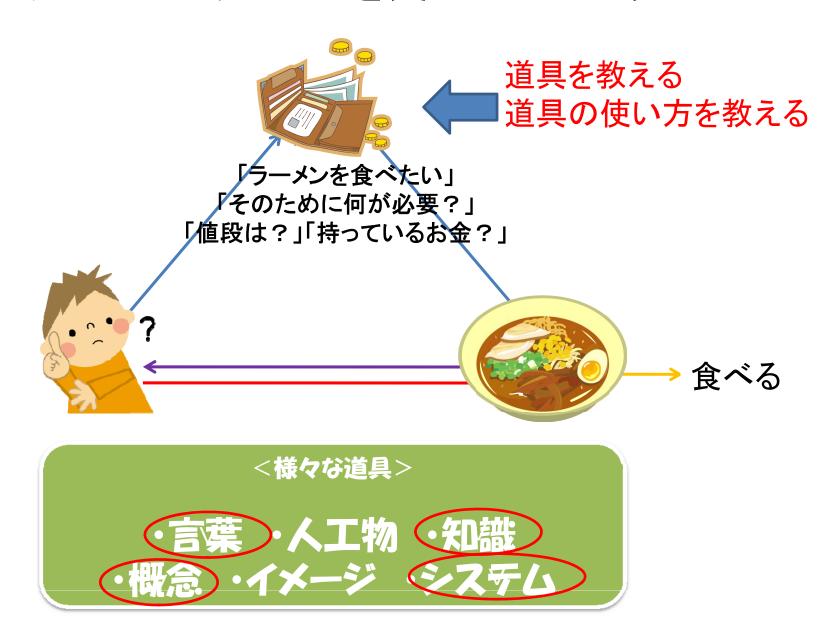
山口(中上) 悦子

人間の活動と、発達を目指した教育

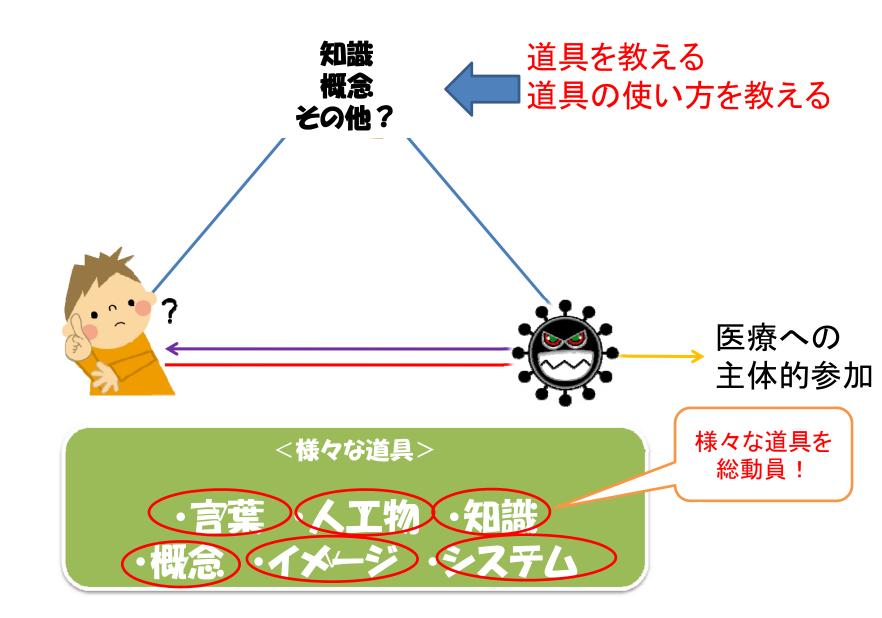


〈様々な道具〉
・言葉 ・人工物 ・知識
・概念 ・イメージ ・システム

例)子どもがラーメンを食べられるようになる



例)子どもが医療に主体的に参加する

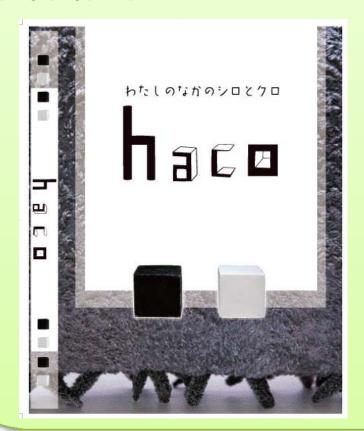


小児がん患者が 理解しなければならない専門知識

- がんの病理
 - がんの発生と症状が起こる仕組み
- 抗腫瘍化学療法の仕組み
 - 抗がん剤の有効性と副作用
 - 抗がん剤治療の原理
 - 多剤併用化学療法のプロトコールデザイン
 - "クール"の概念
- 支持療法
 - 日和見感染とその防御

<化学療法説明用映像>

- •2007年制作 約12分→6分半
- -コマ撮りアニメーションDVD
- *総監督:泉 大知 監修:JACLS QOL小委員会
- •京都精華大学 造形学科学生13名





小児がん患者と経験者(CCS)が 医療に主体的に参加するために必要なもの

知識・概念をイメージとして共有する 具体的な人工物

知識を使うための理由やその使い方

ツール開発、 プログラム 開発によっ て解決

★守られている、大切にされている、 という感じ

どうする??

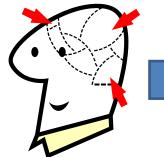
コミュニケーションとは・・・

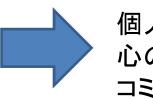
「ちゃんと伝え ない方が悪 い」「ちゃんと 聞かない方が 悪い」となる

×「個体に内蔵された心」という幻想









個人が持っている 心のやりとりが コミュニケーション

O「言葉にしなくても、わかり合える」こと



★心は人々の間に漂っている場や雰囲 気、暗黙のルールなど

「いわなくてもわかる」を作るプロ セスがコミュニケーション



信頼、共感、仲間意識

「浸る情報」 (京大、杉万俊夫先生)



黙っていても、伝わる 何もいわなくても、 関心を寄せあう

子どもを見守る社会システム

やっぱり、 ノンテクニカル スキル!

子ども達は、よく見ています



子どもが「守られている」と感じられる病院社会





『あいさつをする、声をかけ合う、辛くても誇りを持って働く、尊敬し合う、善いことをきちんと評価する、 "有り難う"という』大人達のいる社会